

学校だより

潮風

令和7年度
第9号
R7.10.31

教育目標 「伸びる喜びを見つけよう」
学ぶよろこび（知）
助け合うよろこび（徳）
やりぬくよろこび（体）
岩内町立岩内西小学校
TEL 62-0263



「学芸会を終えて — 仲間と共に創り上げた舞台 —」

岩内西小学校 校長 中西 知 典

秋もいよいよ深まり、朝夕の風に冬の気配が感じられるようになりました。校庭の木々も少しずつ色づき、登下校の道には落ち葉が舞う季節となりました。

皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、10月18日（土）に行われた学芸会には、多くの来賓や保護者の皆様にご来校いただきました。子どもたちの発表に温かい拍手をお送りくださり、誠にありがとうございます。急に気温が下がり、体調面での心配もあった週でしたが、全員がやる気に満ちた表情をそろえ、力を合わせて本番を迎えることができ、本当によかったと思います。

保護者の皆様をはじめ、ご親戚や卒業生、地域の皆様、ご来賓の方々など、たくさんの方にお越しいただきましたことを、心よりうれしく、またありがたく感じております。ここに至るまでの子どもたちの努力や成長の過程が伝わる発表、そして学級や全校が力と心を合わせて取り組む姿に、惜しみない拍手をお送りいただきました。その拍手は、子どもたちの心に「やればできるという自信」と「頑張ってよかったという達成感」とともに、しっかりと刻まれたことと思います。

今回の学芸会に取り組むうえでの大きなねらいは、「学級で仲間同士が教え合い、学ぶ合う活動を通して、お互いを認め合い、刺激し合い、心のつながりをいっそう育む」ことでした。各演目でリーダーを中心に練習を組織していったのも、「子ども同士の育ち合い」を第一に考えたためです。練習の過程では、時に意見をぶつけ合ったり、葛藤したりする姿も見られましたが、その一方で、「相手に求めるからには自分も努力しなければ」という思いをもって自分を見つめ直す姿、そして集団の一員としての自覚や責任感が大きく育つ様子も見られました。苦労や困難に向き合いながら練習に打ち込む中で、「仲間と共に歩む」という気持ちがより強くなり、子どもたちは当日を迎えました。この経験は、学芸会が終わった今も子どもたちの心に「大切な教訓」として残り、これからの成長につながっていくことでしょう。

最後になりましたが、この日を迎えるまでのご家庭の励ましや支えが、子どもたちの背中を押し、心に響く「あたたかく大きなエール」となりました。改めて心より感謝申し上げます。

子どもたちは、この学芸会で得た「成長という名の風景」を胸に刻み、令和7年度後期の歩みを力強く進めてまいります。

今後とも、学校教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



岩内西小HP

後期児童会役員が決定しました！

児童会書記局		代表委員			
会長	： ○○○○ 【6年】	○○○○・○○○○ 【6年】			
副会長	： ○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○・○○○○・○○○○ 【5年】			
書記	： ○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○・○○○○ 【4年】			
	広報委員会	生活委員会	保体委員会	図書委員会	美化委員会
委員長	○○○○ 【6年】	○○○○ 【6年】	○○○○ 【6年】	○○○○ 【6年】	○○○○
副委員長	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】
書記	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】	○○○○ 【6年】 ○○○○ 【5年】

学芸会～最高のラストステージ～

